

平成 22 年 5 月 全国生コンクリート出荷実績

1. 概 況

(1) 当月の出荷実績は、次のとおりであった。

組合員出荷数量	5,323 千 m ³	[前年同月比 94.3%]	[構成比 88.4%]
非組合員出荷数量	698 千 m ³	[前年同月比 99.4%]	[構成比 11.6%]
総出荷数量	6,021 千 m ³	[前年同月比 94.8%]	
（官公需）	2,656 千 m ³	[前年同月比 96.3%]	[構成比 44.1%]
（民需）	3,364 千 m ³	[前年同月比 93.7%]	[構成比 55.9%]

(2) 当月は、前年同月比では、総出荷が平成 19 年 3 月以来 39 ヶ月連続のマイナス、官公需が平成 19 年 2 月以来 40 ヶ月連続のマイナス、民需が平成 19 年 5 月以来 37 ヶ月連続のマイナスとなった。なお、標準稼働日数(平日)は、前年同月と同じだった。単月の数量ベースでは、総出荷と官公需がそれぞれ過去最低値となった。

当年度 4~5 月累計の前年同期比では、総出荷が 5 年連続のマイナス、官公需が 5 年連続のマイナス、民需が 3 年連続のマイナスとなった。地区別では、わずかにプラスが 1 地区あり、ほか 9 地区がマイナス、10%超のマイナスが 2 地区のうち 20%超が 1 地区あった。

今後 2~3 ヶ月先の都道府県別需要動向については、前年実績より増加するが 1 (前月比±0)、前年実績並みが 3 (前月比±0)、前年実績より減少するが 43 (前月比±0) と予想している。

2. 都道府県別の状況

(1) 都道府県別の状況については、前年実績を上回ったところが 15 府県、下回ったところが 32 都道府県であった。

(2) 前年実績を 10%以上上回ったところは 8 府県であった。その状況は次のとおりである。

【奈良】 45 千³m [前年同月比 138.6% (官公需 135.7%、民需 144.6%)] 前年同月の落ち込みに対する反動と思われる。

【京都】 75 千³m [前年同月比 123.6% (官公需 142.7%、民需 110.3%)] 高速道路等の関連工事があった。

【山形】 57 千³m [前年同月比 123.3% (官公需 144.3%、民需 108.8%)] 小中学校新築改築、薬品工場建設等の関連工事があった。

【山梨】 60 千³m [前年同月比 123.0% (官公需 120.0%、民需 127.1%)] リニアモーターカー、中部横断道、イオン建設等の関連工事があった。

【長崎】 80 千³m [前年同月比 113.8% (官公需 133.3%、民需 98.4%)] 前年同月の落ち込みに対する反動と思われる。

【徳島】 59 千³m [前年同月比 113.1% (官公需 112.8%、民需 115.2%)] 前年同月の落ち込みに対する反動と思われる。

【宮崎】 79 千³m [前年同月比 112.8% (官公需 113.2%、民需 112.1%)] 高速道 (県北・宮崎・日南)、シェルソーラーパネル製造工場等の関連工事があった。

【大分】 91 千³m [前年同月比 112.5% (官公需 113.2%、民需 111.3%)] 前年同月の落ち込みに対する反動と思われる。

(3) 前年実績を 10%以上下回ったところは 9 道県であった。その状況は次のとおりである。

【静岡】 233 千³m [前年同月比 89.1% (官公需 90.7%、民需 87.8%)] 特に目立った物件はなかった。

【秋田】 50 千³m [前年同月比 88.9% (官公需 89.2%、民需 88.6%)] 特に目立った物件はなかった。

【愛知】 303 千³m [前年同月比 85.4% (官公需 89.7%、民需 83.4%)] 特に目立った物件はなかった。

【沖縄】 134 千³m [前年同月比 81.7% (官公需 93.5%、民需 73.6%)] 特に目立った物件はなかった。

【宮城】 78 千³m [前年同月比 81.5% (官公需 112.1%、民需 64.6%)] 特に目立った物件はなかった。

【広島】 139 千³m [前年同月比 81.3% (官公需 83.4%、民需 79.4%)] 特に目立った物件はなかった。

【鹿児島】102 千㎡ [前年同月比 80.9% (官公需 84.4%、民需 77.0%)] 特に目立った物件はなかった。

【北海道】177 千㎡ [前年同月比 78.2% (官公需 82.4%、民需 74.6%)] 特に目立った物件はなかった。

【島根】54 千㎡ [前年同月比 77.6% (官公需 77.3%、民需 78.6%)] 松江第五大橋道路、松江刑務所、宍道幼保園、山陰自動車道 (斐川～出雲)、尾道松江道路、仁摩温泉津道路、新清水トンネル、浜田三隅道路、不燃物埋立処分地、益田道路 (遠田～久城)、介護施設等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

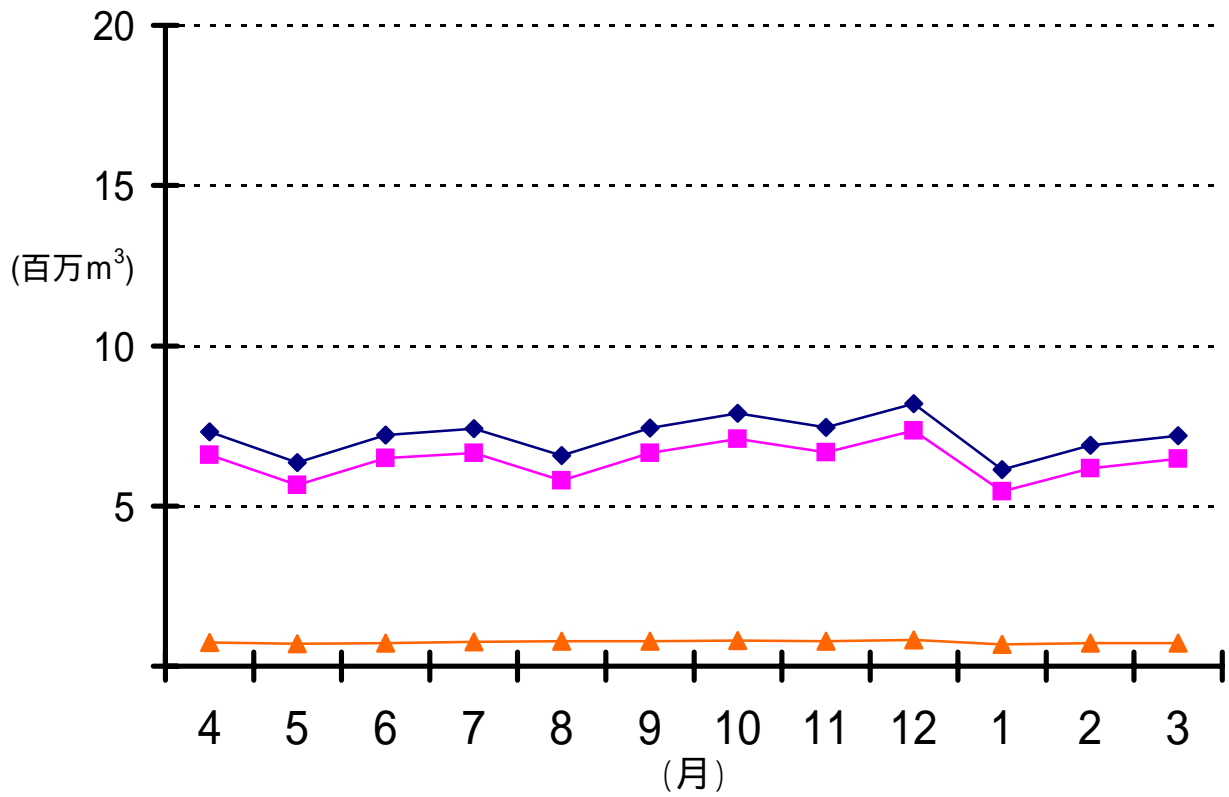
3. 今後の需要動向についての見通し

各都道府県の現状から、今後2～3ヶ月先の需要動向についての各工業組合の見通し(前年実績との比較)は次のとおりである。

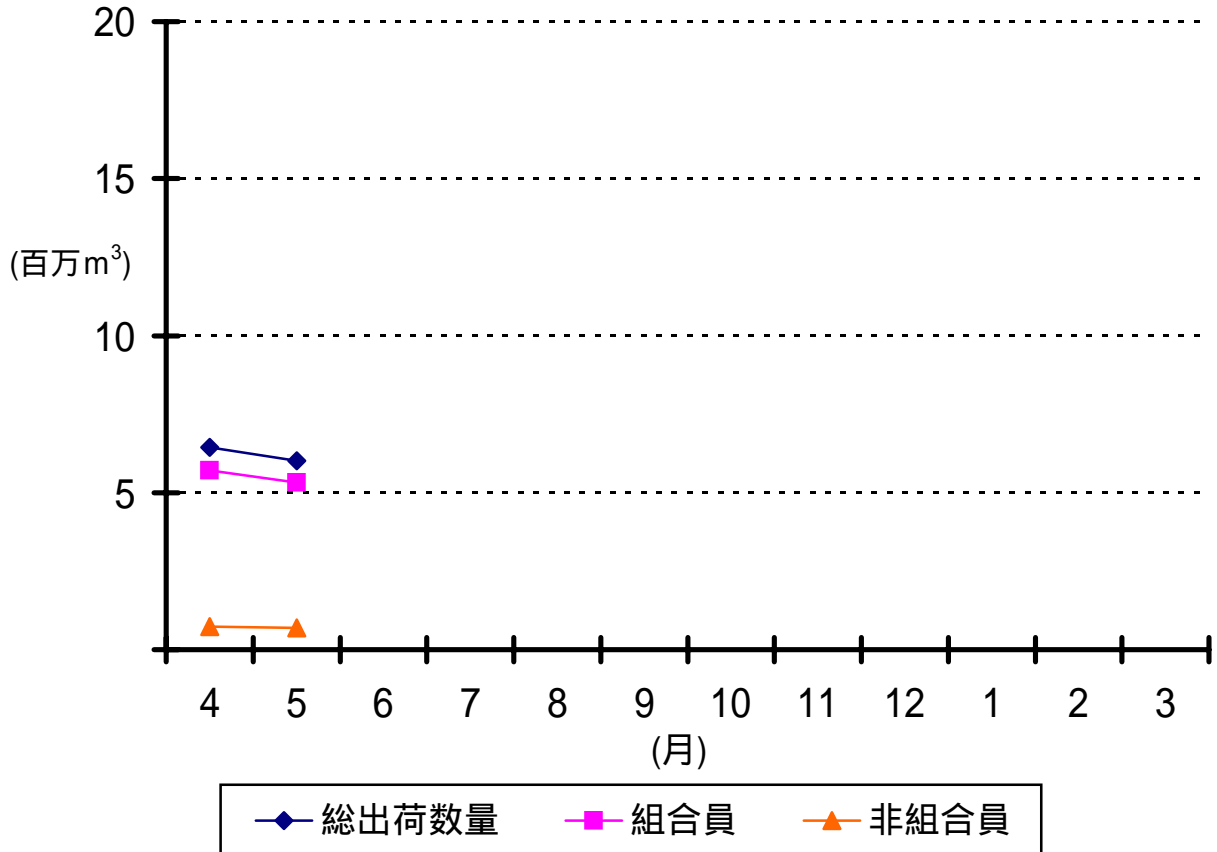
	件数	都道府県	前月件数
増加	0		0
やや増加	1	京都	1
前年並み	3	山形、山梨、富山	3
やや減少	14	岩手、福島、茨城、栃木、石川、奈良、大阪、兵庫、山口、鳥取、愛媛、長崎、大分、沖縄	13
減少	29	北海道、青森、秋田、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、群馬、長野、新潟、福井、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀、和歌山、岡山、広島、島根、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島	30

全国出荷実績の推移

平成21年度4～3月



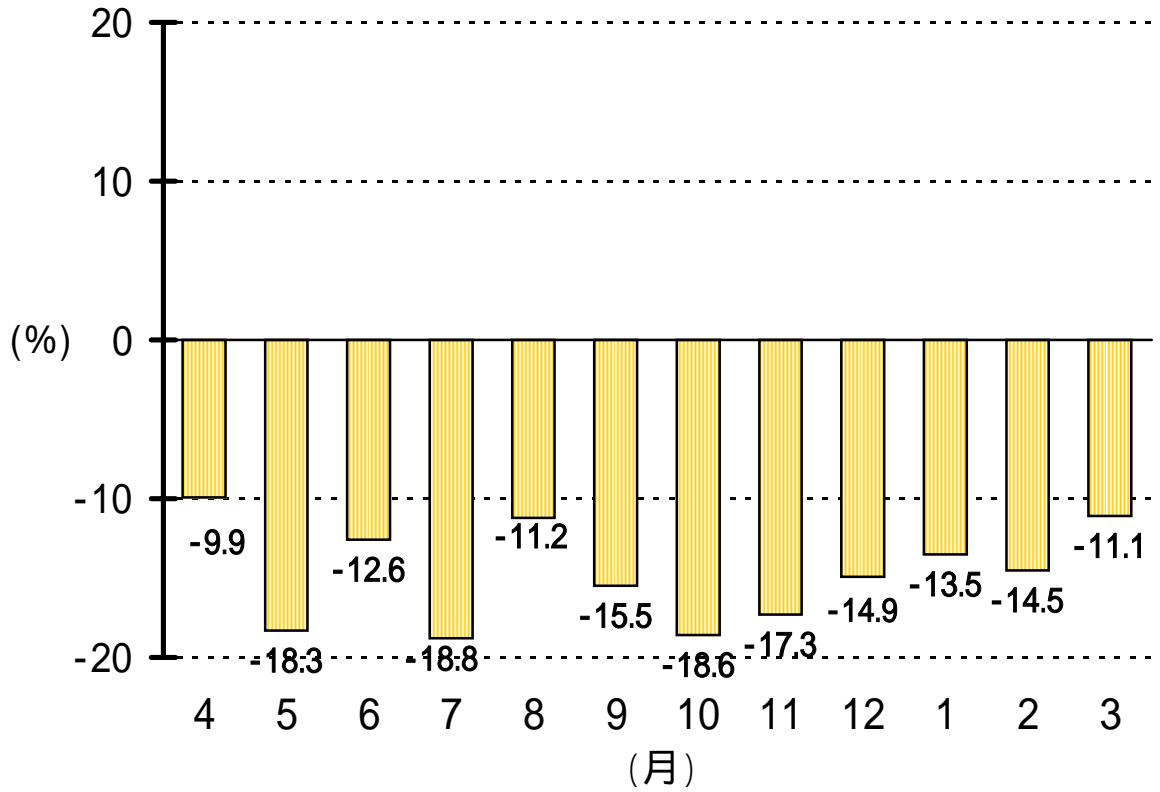
平成22年度4～3月



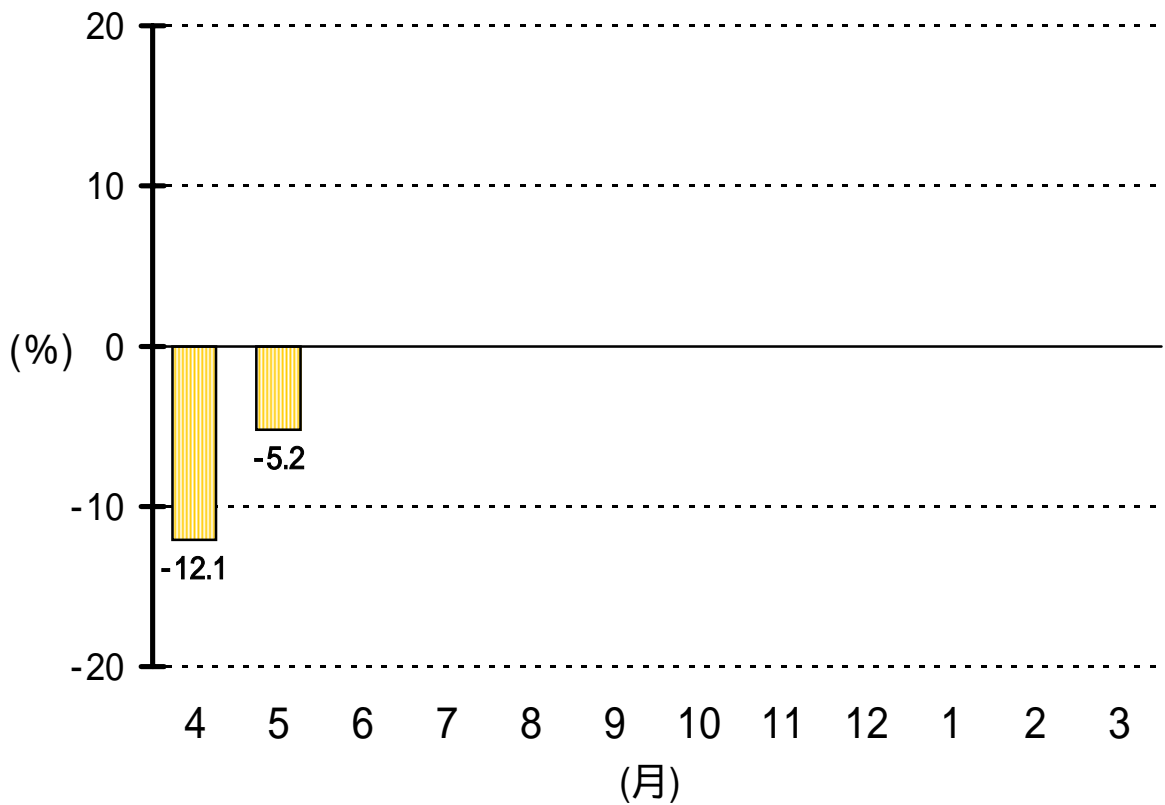
◆ 総出荷数量 ■ 組合員 ▲ 非組合員

全国出荷実績の対前年比の推移

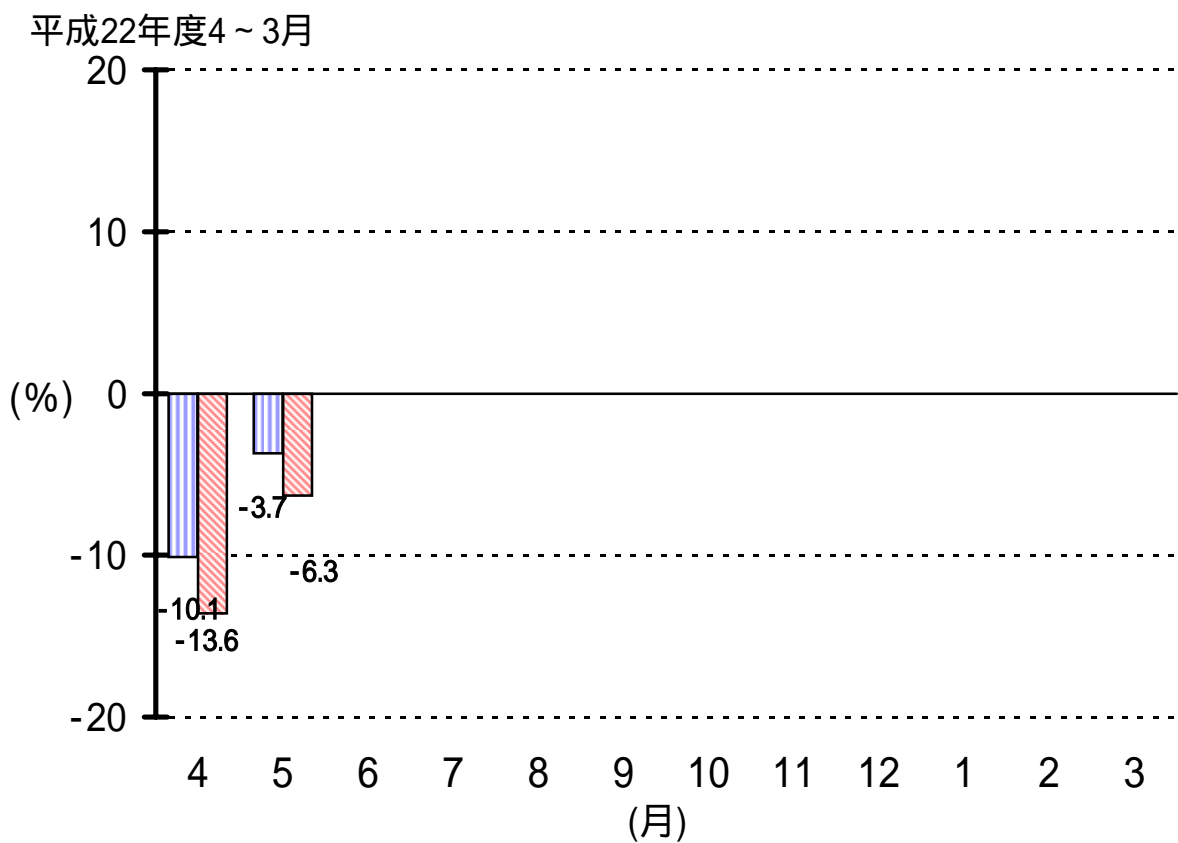
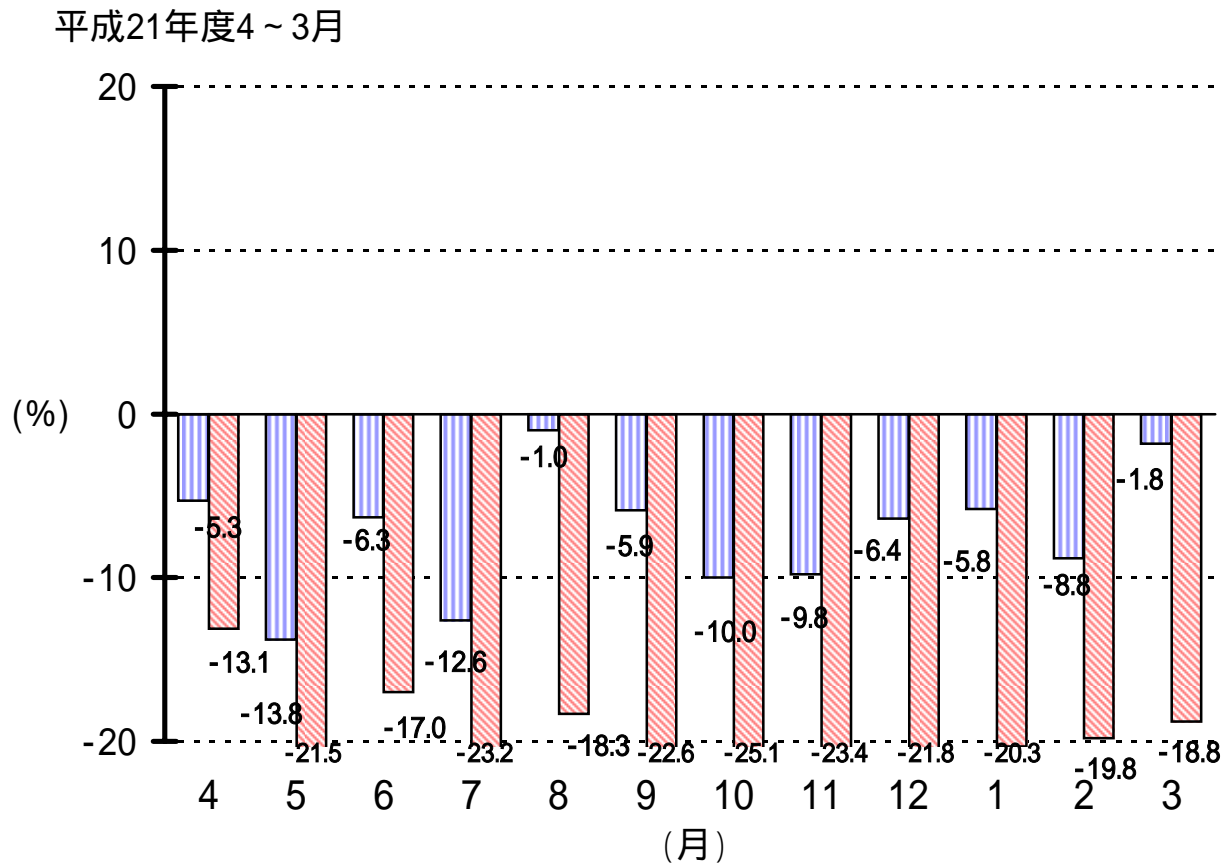
平成21年度4～3月



平成22年度4～3月



官公需 民需別 対前年比の推移



官公需 民需

地区本部別出荷実績と対前年比

【全国総出荷数量】

平成19年度4～5月 18,045千m³ (対前年比 98.3%)

平成20年度4～5月 15,894千m³ (対前年比 88.1%)

平成21年度4～5月 13,670千m³ (対前年比 86.0%)

平成22年度4～5月 12,459千m³ (対前年比 91.1%)

